

優秀賞
(個人部門)

嶋田 弘さん (城南区田島)

校区や町内のリーダーとして
環境美化に尽力



ラブアースへの参加



表彰される嶋田さん



安全指導を行いながら環境美化を呼びかけ

地域の環境活動にも積極的に参加し、自治協議会事務局
長、校区ごみ減量・リサイクル推進会議代表として、田島小
学校通学路において、毎日、登下校時の子どもたちに安全
指導を行うなかで、ポイ捨て防止などの環境美化に関する
教育活動に取り組んでいます。

また、違反広告物の除去や公園清掃、ラブアースなど、地
域の皆さんに呼びかけ、環境美化活動に取り組んでいま
す。小中学生と毎日顔を合わせることで、子どもたちから
挨拶を交わしてくれるようになりました。78歳。(活動期
間5年)

優秀賞
(個人部門)

(故人)長野 正夫さん (東区若宮)

校区ごみ減量・リサイクル推進会議の会長
として地域のごみ減量・リサイクルに貢献



プルタブ回収で車イスを寄贈



校区内に啓発看板を設置



大病と闘いながら、校区ごみ減量・リサイクル推進会議
の会長として、校区紙リサイクルステーションの設置当初
から管理運営、地域集団回収に取り組み、地域のごみ減量・
リサイクルに積極的に関わってきました。また、設置場所
が小学校敷地内のため周囲を花壇で整備し、地域住民や子
どもたちの環境教育にも力を入れてきたほか、校区内の一
斉清掃(9月)及び各町内会清掃の企画・実施、環境パト
ロールなどに取り組みました。さらに、小学校と連携して
空き缶のプルタブを回収して車イスを公民館に寄贈しま
した。78歳。(活動期間6年)

優秀賞
(個人部門)

西田 美佐子さん (早良区高取)

資源回収・廃油石鹸づくりで地域の連帯感
を高め、環境ボランティアの輪を広げる



廃油石鹸づくり



資源回収の様子

町世話人に就任した昭和63年4月から、地元高取校区
自治連合会が取り組んできた資源回収に積極的に参加し、
特に平成7年からは、校区住民に資源回収事業への参加を
呼びかけ、多くの賛同者を得て、その活動は今でも継続さ
れています。また、ごみ減量・リサイクル推進会議の一員
(会計)として、毎月1回、校区の集団回収、廃油石鹸づく
りなどに取り組み、校区の自治会長や各種団体、若いボラン
ティアの方々にごみ減量・リサイクルに対する理解を深め
てもらい、地域の連帯感を高め、環境ボランティアの輪を
広げています。80歳。(活動期間20年)

優秀賞
(事業者部門)

NTTコムウェア・ビルングソリューション株式会社
九州センター (博多区榎田)

徹底した分別・リユースで
資源化率をアップ



シュレッダーにかけてリサイクル



紙を規格サイズに切ってリユース



分別箱

当社では、平成14年にISO14001を取得。クールビズはもち
ろんのこと、各部署のエネルギー使用量を掲示し常時閲覧で
きるようにするなど、全社員の省エネ意識を向上させるよう
社を挙げて環境問題に取り組んでいます。社員が自由に意見
提案できる「ひらめき箱」を設け、改善に役立ててもらいま
す。当社の事業では紙ごみが大量発生しますが、リユースを優先
し、印刷ロール紙の余りをコピー用紙に活用したり納品段
ボールを再使用しており、機密書類についても独自に資源化
しています。紙類以外のごみについても、徹底した分別を
行っており、3Rへの取り組みには非常に力を入れています。

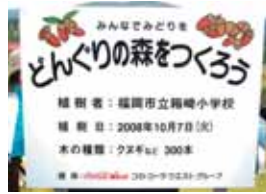
優秀賞
(事業者部門)

コカ・コーラウエストホールディングス株式会社 (東区箱崎)

「どんぐりの森」と「ビオトープ」で 環境の大切さを学んでもらう



学校植林支援



学校ビオトープづくり支援

当社では、地球環境保全を経営の最重要課題の一つに位置付けています。次世代を担う子どもたちに自然環境の大切さや素晴らしさを知ってもらうために、「学校ビオトープづくり支援」「学校植林支援」など独自の積立金を活用し環境教育活動を継続的に支援しています。また、エコカーの導入やエコドライブの実施などを推進。さらに、当社独自の「環境表彰制度」を設け、社員やその家族から身近な環境問題をテーマにしたポスターを募集し、優秀作品をカレンダーとして制作し配布するなど、環境意識の向上に役立てています。

優秀賞
(市民団体部門)

福岡市赤坂公民館 (中央区赤坂)

「大地に触れよう」をテーマに、都心 の子どもたちが循環する自然を体験



赤坂環境プロジェクト参加のみなさん



段ボールコンポストで堆肥づくり



堆肥を使って野菜を栽培

都心部で生活する子どもたちに循環する自然を体験させたいという思いで、公民館から小学校に働きかけ、家庭から出る生ごみの堆肥化(段ボールコンポスト)、落ち葉・雑草の堆肥化(木製のコンポスト)、堆肥を活用した有機野菜の栽培、子ども主体のスローフードレストランの運営など、循環体験を行う環境教育を小学校、公民館、校区住民、NPOが一体となりそれぞれの役割で連携して進めています。「環境」をテーマに子どもから大人へ発信することで新しいコミュニティを創出していきます。(活動期間1年)

優秀賞
(市民団体部門)

西部環境サポーター倶楽部 (西区今宿青木・西部リサイクルプラザ内)

卒業生が学んだ知識を生かし、 地域に還元



生ごみ堆肥づくり講習会の様子



西区役所主催の「環境サポーター養成講座」の卒業生が、学んだ知識を活かし、地域の役に立ちたいと平成18年度に「西部環境サポーター倶楽部」を結成。会員は現在18名で、それぞれがリーダーとなって地域で活動しています。

①生ごみ堆肥づくり講習会②地域ボランティアグループ支援活動(講師、会員の派遣)③堆肥づくり相談会(「無料相談窓口」を毎週土曜に開設、講習会を補完)④3R講習会⑤資源物回収活動など。生ごみ堆肥を利用して花や野菜づくり、その先の「食育」までも視野に入れた活動を目指しています。(活動期間2年)

優秀賞
(市民団体部門)

夢サークル(東区ホタルの会) (東区香椎浜)

香椎川にホタル舞う日を夢見て 河川の浄化活動



錦鯉の放流



ガレージセール



錦のぼりの飾り付け

川を綺麗にして、ホタルを飛ばし、子どもたちに残していきたいと、平成7年に仲間4人と「東区ホタルの会」を設立。川の浄化を呼びかける看板の設置、鯉のぼりの飾り付け、生き物観察、カワナ・メダカ・ホタルの幼虫や錦鯉の放流などの活動の継続によって、地域住民や企業、学校など活動の輪が広がり、45年ぶりに子どもたちが川で泳ぐようになりました。月1回のガレージセールの開催や買い物袋持参キャンペーン、ボランティア活動の参加者に「ほたる通貨」(エコ通貨)を発行するなど、助け合い・ふれあいのコミュニティを推進しています。(活動期間14年)

優秀賞
(学校部門)

福岡県立筑前高等学校 (西区千里)

生徒会と教員が一体となった 環境美化活動



周船寺川の清掃の様子

美化活動

平成7年度に、環境美化意識を芽生えさせ、地域社会に貢献できる生徒を育てることを運営方針とした「環境課」を設置し、以来生徒会の「美化委員会」と協力して、教員・生徒が一体となった環境美化活動を推進。

特に周船寺川、JR周船寺駅周辺、周船寺中公園、周船寺商店街、国道202号線歩道、通学路の清掃を「美化委員会」が主導して1・2年生(200名/回)が参加し実施しています。

また、学校内のごみの分別は10種類におよび、生徒自らが取り組むことにより、日常生活における環境保全意識の向上にもつながっています。(活動期間15年)

優秀賞
(学校部門)

福岡市立城香中学校生徒会 (東区香椎浜)

毎朝日課で実施している 生徒会の環境美化活動



学校周辺の清掃活動の様子

平成13年度から生徒会の活動として、学校周辺と香椎浜二丁目付近にかけて、街路樹の落ち葉、道路・歩道の空き缶、ペットボトル、たばこの吸い殻拾いなど毎朝30分間の清掃が日課となっています。さらに月1回は、放課後1時間の清掃も実施。中学校の取り組みと地域諸団体の取り組みが相乗効果を生み、地域の皆さんからは感謝の言葉をいただいています。また、生徒会と保護者の協力体制のもと、2か月に1回、家庭や地域からアルミ缶を回収し、リサイクルに回し、収益はユニセフへ寄付するボランティア貢献に取り組んでいます。(活動期間7年)

優秀賞
(学校部門)

福岡市立春住小学校 (博多区博多駅南)

電気使用量、ごみ減量1%減を 目標に取り組む



生ごみを堆肥化

ごみの計量

省エネのためスイッチOFF

省エネ、ごみ減量意識の向上・定着を目的に太陽光発電パネルを設置、総合学習などで電気使用量1%減及びごみ減量1%減を目標に取り組んでいます。「チャレンジ春住省エネ隊エコ作戦」では、エネルギーと自分たちの生活、自分たちにできる地球温暖化防止対策について5年生がまとめ、低学年や地域、保護者に発信。また、環境委員会・児童会が中心となって毎週月曜日の朝、校内や学校周辺の清掃、昼休みにはごみの分別をし、ごみ減量を図っています。ペットボトルを再利用した手作りポットに花を植えて、校区内を美しくする活動も行っています。(活動期間4年)

ごみ減量・
リサイクル
努力
事業者賞

株式会社 西鉄シティホテル

(中央区大名)

3Rで環境に優しいホテルを目指す



生ごみ処理機

生ごみの計量

当社では、社内に「環境委員会」を設置し、省エネ・省資源に取り組んでいます。ホテル業は空調・照明関係の省エネは難しい面もあり、特に力を入れているのはごみの減量・再資源化です。オフィスでのコピー用紙の削減枚数は目標を設定し、社員のついうっかり印刷の削減に効果を上げました。食材の納品は通い箱を使用することに改め、また厨房の生ごみは徹底した水きりを行ったうえで生ごみ処理機により肥料化し、この肥料で作られたお米をホテルで一部使用しています。客室の廃棄予定家具も手を加えてリユースしており、環境に優しいホテルを目指しています。